

すずかけ

学校便り 10月号
令和元年9月25日
掛川市立第二小学校

教育目標 『夢に向かって 自分を磨く子』 重点目標 『やさしく伝え合おう 進んでやろう』

挑戦ステージから成長ステージへ 文責：校長 岡本敦子

☆挑戦ステージ児童アンケートより（○は目標を達成した項目）

No.	項目	目標	笑顔	挑戦
1	生活をよくするために行動している。	91%	89%	89%
(2)	学校が楽しい。	90%	90%	90%
(3)	困ったとき相談できる先生がいる。	92%	92%	93%
4	授業で相手にわかるように話している。	90%	86%	88%
5	授業で先生や友達の話を聞いて反応している。	90%	89%	87%
(6)	授業がわかる。	92%	91%	93%
(7)	「さん」づけで呼んでいる。	85%	85%	88%
(8)	やさしい言葉遣いで伝えている。	90%	93%	91%
(9)	気持ちのよい挨拶をしている。	85%	85%	85%
10	すみすみまで掃除をしている。	—	94%	93%
11	自分の目標に向かって進んで運動している。	90%	88%	83%
12	よい姿勢で勉強をしている。	75%	73%	73%

挑戦ステージでの子どもたちは、楽しい思いも多かった半面、ぶつかり合いもありました。問題に向き合い、いいクラスを目指して真剣に考えて乗り越えた子どもたちの姿は尊く、誉（ほまれ）ともいえるものでした。

到達目標に達していないものは、努力次第で成果が上がるものばかりです。成長ステージは伸びる時、鍛えていきます。

家庭で話し合ってこそ安心・安全なインターネット活用！

子どもは大人に比べ、様々な最新機器を素早く覚え、扱うことができるようになります。しかし、判断力は発展途上です。家庭で十分に話し合い、ルールを決め、子どもたちを守っていきましょう。

☆青少年のインターネットトラブル

- ・ネットいじめ
- ・高額課金
- ・不適切情報の発信による炎上
- ・不適切サイトの閲覧
- ・SNS等の出会い系
- ・著作権の侵害
- ・ネット依存

☆炎上(ちょっとふざけてみただけ)

- ・某回転ずし店員⇒損害賠償請求額2千万円
- 個人の特定（住所、氏名、家族等）
- ネット上でさらし者にされ、残り続ける
- 大学入試、企業採用担当者もチェック
- 一生残っても恥ずかしくないか！

☆SNS投稿のルール

- ・友だちと一緒にとった写真をSNSに投稿するときは全員の許可を得る。
- 肖像権・プライバシーの侵害で裁判になることもある。

大人は
子どもの
お手本に

☆ネット依存(中高生93万人)

- ・視力低下
- ・学力低下
- ・斜視
- ・睡眠障害
- ・生活習慣の乱れ

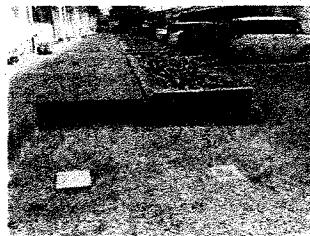
☆ゲーム障害(精神疾患:専門病院少)

- ・バトルロワイヤル系のゲームが依存しやすい
- ・ゲーム開始が低年齢である程依存しやすい

奉仕作業ありがとうございました

9月7日(土)橘町・末広町・長谷地区による奉仕作業を行いました。夏休み中に伸びきった草を親子で一生懸命刈りました。刈った草は、820kgにもなりました。

また、ナイターを利用している方もお手伝いしてくださり誠にありがとうございました。

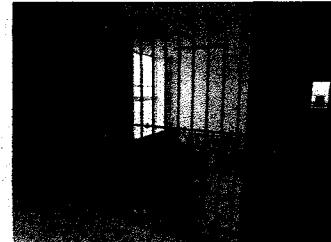


北校舎3階手摺り工事

階段への落下を防止するための北校舎3階手摺工事を行いました。安全安心な学校づくりのために、学校職員による毎月の安全点検や業者による定期点検を行っています。



Before



After

特別支援教育だより

「いろいろ感の対処法」 特別支援コーディネーター松浦 崇

大人でもそうですが、やりたいことがうまくいかなかったり人にわかつてもらえなかったりすると、いろいろしたりむしゃくしゃしたりします。その気持ちを引きずって、人や物に当たってしまうこともあります。人がいろいろしたりむしゃくしゃしたりする様子を見るのは、いい気持ちがしません。なので、「いろいろしゃだめよ。」や「落ち着きなさい。」と声をかけてしまいます。

「いろいろ」や、「むしゃくしゃ」は気持ちなので、そのような気持ちになつてはいけないというのは、少し違うような気がします。その気持ちを上手に解消したり、「まっ、いいか。」「しょうがないか。」と切り替えたりできればいいのだと思います。

「いろいろ感」や「むしゃくしゃ感」が最高潮に達する前にクールダウンできれば、人や物に当たらずにするかもしれません。「このレベルだったらまだ別の行動で対処できそうだ」ということを、自分で知つておくことが大事です。好きな物を食べたり飲んだり、体を冷やしたりさすってもらったり、新聞紙をびりびりにちぎったりすることで気が紛れることもあります。

「いろいろしゃだめ。」と言われるより、「〇〇でいろいろしたんだね。」と声をかけてもらった方がクールダウンしやすく、その後どうするかも考えやすいように思います。

